

## 組み合わせの基本原則

### 1. シード対象大会

シングルス	全日本ジュニア（8月） → 新人戦（10月） → 北信ジュニア（2月） → 国体予選（4月） → 総体予選（5月）
ダブルス	総体予選（5月）・全日本ジュニア（8月） → 新人戦（10月） 北信ジュニア（2月）・国体予選（4月） → 総体予選（5月）
学校対抗	新人戦（10月） → 総体予選（5月）

### 2. 組み合わせの基本原則

#### シングルス

ランキングポイント					
1位	…24点	2位	…16点	3位	…12点
ベスト8	…8点	ベスト16	…4点	ベスト32	…1点

#### 【ランキング順位決定のルール】

同ポイントの場合は、より大きいポイントを持つ者が上位。  
最大ポイントが同じ場合は前大会のポイントが多い者が上位。  
さらに同じ場合は前大会のランキング上位が上。

- ① 前2大会のランキングポイントにより1位から32位までを順位に従ってシードする。
- ② 同一校の選手は同ブロックに偏らないように、ランクの近い選手と入れ替えをする。  
(入れ替え方は、3～4・5～8・9～16の範囲ごとに行う。)
- ③ 中学生以下については、シード対象大会および中学生以下の北信大会・県大会の実績によりポイントを考慮する。
- ④ シード32以外のポイント獲得者と各学校の上位者は、33～64シードの位置に配置する。
- ⑤ ①～④の手順後に抽選により組み合わせを決定する。

#### ダブルス

- ① ペアを組む選手の前2大会のシングルのポイントを合算し、ポイントにより1位から16位までを順位に従ってシードする。
- ② 同一校の選手は同ブロックに偏らないように、ランクの近い選手と入れ替えをする。  
(入れ替え方は、3～4・5～8・9～16の範囲ごとに行う。)

#### 学校対抗

- ① 前大会のベスト4をランクに従って第1～4シードに配置する。
- ② 前大会の5～8位校は抽選により第5～8シードに配置する。
- ③ 初戦で前大会と同じ対戦がないようにする。